



FUJI WOMEN'S UNIVERSITY

No.62
June 20, 2016

藤

藤女子大学
広報



起工式



サンダミアノ教会
中庭にて



入学式

CONTENTS

- 巻頭言 ～未来へはばたく藤～ / 2
- 新入生へのエール / 5
- 《藤のルーツを学ぶ旅》を振り返って / 9
- 私のカレッジライフ / 14
- 素顔の先生 / 15

巻頭 言



未来へはばたく藤

学長 永田 淑子



昨年9月に藤学園創立90周年を無事に終えて誰もが感謝と喜びのうちにあった中、11月に本学の喜田勲学長が急逝され、私どもは驚きと悲しみで一杯になりました。突然のことで、急遽私が学長を兼務することになりました。喜田学長は本学の改革を目指して取り組んでおられましたので、早速、その改革の仕事を継続して完成させるよう取り組み始めています。

昨年6月に発行された『広報藤60号』において、喜田前学長はカトリック大学である本学の使命として「グローバル大学」ということを挙げておられます。国際的な協働の結晶である藤の創立を考えれば、「人と繋がり、地域と繋がり、共に真理を究め、共によりよき価値を具現する人材を育む場：そうした人々からなる共同体」と、本学を意義付けておられます。そして「人とは何かを究める」文学部、「人に如何に貢献するかを修得する」人間生活学部と、各学部の特徴を示され、また大学全体として、「豊かな教養」「豊かな国際性」「豊かな人間性」を開花させ、人類社会の平和と福祉に向け、その一員として、国際社会のいずれの地域にあっても重要な役割を担い、その責任を果たす人材育成に努め、と本学の使命を明確に示してくださいました。さらに現代世界の特徴として、国際社会は相互関係・相互依存度を深化させ、多様性を尊び、一つの地球規模的(グローバル)社会構築へと向かっていること、共通価値である人間の尊厳、平和的共存・共栄の実現、物質的・精神的豊かさの模索を挙げておられます。

この視点から、喜田前学長は「大学共通科目(共通教養科目)」「カリキュラム」の改革と、「学部学科の再編」を考えておられたことが書かれています。

今年の4月から、学長を補佐する機関として「学長室会議」を設けました。この会議で既にこのような改革の

検討を始めています。以前とは大学の意思決定のシステムが変わりましたので、より迅速に検討を進め、決定をしていくことができると思います。教職員が一体となって方向を考えていきたいものです。

この改革は、喜田前学長が示されたようなカトリック大学としての本学の使命を土台にして、それぞれの学部の特徴を熟考し、未来に向かって開けた教育組織の在り方を検討するものです。それゆえ、本学の建学の理念、教育目的、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーの見直しを始めています。どのような大学を目指すのかを明確にしなければ、大学の改革の方向性が見えません。「豊かな教養」「豊かな国際性」「豊かな人間性」を育てる大学としての使命を、再確認する必要があります。それをどのような形で具現化することができるのか、今本学の一員である私たちの最大の課題です。教職員それぞれの立場で、このために全力を尽くす責任があります。

自己点検評価委員会が設置されてから既に何年も経過しており、また大学基準協会の3回目の認証評価を今年度申請しています。FDやSDがスタートしてから何年になったことでしょうか。今年は、それらを十分に機能させ、その力を最大に発揮していただきたいと願っています。本学の教職員が自ら本学の質の改善のために、全力を尽くして取り組む機会です。

過去や現在にしがみついているのは、決して改革ができません。現在の本学を担う私たち教職員が怠って後退するのには任せれば、それは先人たちの測り知れない熱意とご苦労に対する冒瀆になるでしょう。明るい希望をもって前進すること、これが今の私たちに求められていることだと確信しています。戦後すぐに女子の高等教育を始めた先輩たちは、北海道で先頭を切って歩み続けました。今、彼らに倣う勇気を持ちましょう。

副学長就任にあたって

副学長
石田 晴男



4月より教育改革の担当の副学長となりました。昨年11月に急逝された喜田勲前学長の下で、文学部長として池田隆幸人間生活学部長と2018年の導入を目指して共通教養科目の再構築のプロジェクト会議の座長として検討してまいりました。また永田淑子新学長より改革に向けての検討プロジェクト会議の指示をうけて、実施に向けて尽力する所存です。

昨年、本学園は創立90周年を迎え記念式典を行いました。ドイツの修道会本部から3人のシスター方が派遣された1920年は第一次世界大戦の休戦の2年後、ヴェルサイユ講和条約締結の1年後です。大戦で多数の犠牲をはらった敗戦国ドイツの復興の課題も前にしながら、大戦以前からキ

ノルド司教から要請されていた北海道の女子教育のために日本に向かった使命感は刮目に値します。しかも学校設立の資金として用意していたドイツマルクが膨大な賠償金支払いのため、高額紙幣の大量増刷により価値を失い、学校設立の目途が立たなくなってしまい、修道会本部はシスター方にドイツ帰国か、アメリカ行きを指示したといわれます。この時もシスター方は当初の目的を果たす意志を失いませんでした。シスター方がこの時、日本を後にしていたならば、1925年の札幌藤高等女学校開校も、本学園の創立90周年は当然の事ながらありません。

私が本学に着任した1990年当時は、短大（1950年開学）の木造の校舎が残され、多くのシスター方も大学の教職員としておられました。1961年に開設された大学は、2000年に改組され2学部6学科体制となり、短大は募集停止となりました。現在16条キャンパスでは来年3月の竣工に向けて新校舎の建築も進んでおります。校舎の外も内も全く様変わりしました。どのように変わるにしても忘れてはならないのはドイツ本部から来られたシスター方の使命感・意志であると思っています。

新任教職員紹介



英語文化学科
准教授
工藤 雅之

英語教育、
応用言語学、
教育工学



英語文化学科
講師
岡本 晃幸

アメリカ文学、
Edgar Allan Poe



英語文化学科
講師
對馬 康博

認知言語学
(認知文法・構文文法)、
英語学



日本語・日本文学科
講師
押上 万希子

書道



文化総合学科
講師
平井 孝典

図書館情報学、
アーカイブズ学



食物栄養学科
講師
岸 知子

公衆栄養学



新任教職員紹介



食物栄養学科
助教
田中 洋子



臨床栄養学

食物栄養学科
研究助手
高田 紗恵子



臨床栄養学

食物栄養学科
研究助手
大宅 穂波



微生物学

食物栄養学科
研究助手
南屋 智砂



給食経営管理、
応用栄養学

人間生活学科
教務助手
佐藤 亜沙実



キャリア支援課
伊藤 拓也



国際交流室
猿橋 史章



システム管理室
米川 信一



人事 退職教職員



文化総合学科 准教授 金戸 幸子
(2015年9月30日付)

食物栄養学科 研究助手 坂本 佳菜子
(2015年9月30日付)

食物栄養学科 研究助手 葛西 里華子
(2015年9月30日付)

日本語・日本文学科 教授 大川 壽美子
(2016年3月31日付)

食物栄養学科 研究助手 吉田 訓子
(2016年3月31日付)

人間生活学科 教務助手 加藤 有紗
(2016年3月31日付)

総務課 曾根田 敦子
(2016年3月31日付)

食物栄養学科 研究助手 新田 詩乃
(2016年4月30日付)



新入生へのエール

〈文学部〉



今しかできないことに 挑戦を!

英語文化学科 3年
H.Mさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は3年前にこの大学の英語文化学科に入学し、これまでにたくさんのことに挑戦してきました。私にとって一番成長できるきっかけとなったことは、大学入学前からの夢であった留学でした。2年生の9月から約4ヶ月間カナダへ行き、語学の向上に励みました。海外渡航経験が全くなかった私にとって、向こうでの生活は楽しいことばかりではありませんでしたが、日本では出会えないような人たちとの「一期一会」を通じて、精神面にも大きな成長を感じました。また実際に英語を使う世界に飛び込んでみて、自分の英語力はまだまだだということに気付けたことも大きな収穫だと思っています。

もし皆さんの中に留学に少しでも興味

がある方がいたら、是非殻を破って挑戦してほしいと思います。誰も最初は不安ですがそれを乗り越えた人にしか見えない景色があると思います。そしてそれは必ず皆さんのこれからの人生の生きる糧になると思います。せっかくの大学生活、今しかできないことに果敢に挑戦してください。もちろん、留学以外のことも構いません。長いようで短い4年間を無駄にしないためにも1年生の今、この瞬間を大切に過ごしてください。

最後に、この大学に入学することを決めるまでに皆さん様々な思いがあったかと思いますが、いつか必ずこの藤女子大学に来てよかったと心の底から思う日がくると思いますし、そうなることを願っています。

2016年度 英語文化学科 新入生



チャレンジ精神と 計画性を大切に

日本語・日本文学科 3年
N.Mさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新生活はいかがお過ごしでしょうか。きっと履修登録も無事終わり、90分授業にも慣れてきた頃かと思います。けれど時間割を見直すと、空きコマが目立つということはないでしょうか。

もちろん、興味のあることを積極的に学ぶ場が大学であると思います。しかしながら、興味のある分野以外の科目に手を伸ばしてみると、意外な発見があるかもしれません。私自身も苦手だと思う科目はなるべく避けて、履修登録をしていた時期がありました。が、ある日思い切ってそうした科目を履修してみたところ、難しいだろうし興味を持っていないに違いないと思い込んでいた科目が、予想外に楽しく興味深いと感じたのです。

そして予想していた通りに難しいとは感じましたが、しかし、事前準備を怠らなければ「何がわからないのかが判らない」という事態には陥りませんでした。したがって、苦手意識のある科目を避けることなく、可能であれば色々な分野に手を出してみることもよいと思います。

履修しすぎると予習や課題が困難に感じることもありますが、大変であるからこそ、逆に大きな達成感と充実感を得られるかと思っています。また、何にいつとりかかるかを考えながらすごすため、計画性も養えるかと思っています。

是非ともオープン・カリキュラムを有効に活用できるクラスター制度や、先生方が親身になって相談に応じてくださるオフィスアワー等を最大限に利用してみてください。

皆さんが素敵な大学生活を送れるよう、応援しています。

2016年度 日本語・日本文学科 新入生





**様々なことに
挑戦してみてください**

文化総合学科 3年
I.Hさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。藤女子大学での新しい生活にも慣れた頃かと思えます。

大学生活は4年間と短いものですが、アルバイトやボランティア、サークル活動など、様々なことに挑戦できる機会にたいへん恵まれています。

私は上智大学での国内留学に挑戦することで、自分の消極的な面を改善することができました。

上智大学で私が所属していた日本史ゼミでは、自身の見解を述べる場が多く与えられていました。その際、同じゼミ生の知識量の豊富さや活発な議論に圧倒されて自分の考えに自信をもてず、議論に参加することができないでいました。しかし、このまま

ではいけないと思い、普段から様々なことに関心を持ち、図書館の文献を使って調査を行い、自分の考えをまとめる習慣をつけたことで自信をもてるようになり、積極的に議論に参加できるようになりました。

このように自分をより良い方向に変えられたのは、思い切って国内留学に挑戦したからであると思います。皆さんも失敗を恐れることなく、興味や関心をもったことには積極的に挑戦してみてください。そこから自分を成長させる経験を得られるかもしれません。

藤女子大学での4年間が、皆さんにとって実り多いものになることを願っています。

2016年度 文化総合学科 新入生



〈人間生活学部〉



新入生に向けて

人間生活学科 3年
H.Mさん

6月ということで入学式から2ヶ月経ちました。そろそろ学生生活にも慣れて落ち着いてきた頃でしょうか？

一人暮らしであれば、家事が手馴れてきて多少余裕が出来てきた時期かと思われます。私もこの位の時期にバイトを始めたり、友人と遊んでみたりと大学生活の充実のためにいろいろ動き始めた頃でした。

それと同時に、今までの高校などの学校生活と違って色々と自由であるために講義などで気を抜き始めた人もいるのではないのでしょうか？

大学生活は確かに自由です。干渉も少なく、自分で選択して動ける上に、休みも多く魅力的な時間です。

しかし、自由だからと気を抜いて自堕落な生活を始めると戻るのが苦労します。やる時はや

るから大丈夫！と考えるのであれば、そのやる時をきっちり見極め、確実にやることをやる時にやるようにしましょう。

また、学生生活を真面目にすごせばすごすほど、休みになった時の解放感は筆舌に尽くし難いほど大きいものです。やはり授業にきちんと出席し、いい成績を修めるために学ぶことを怠らず、真面目に学生生活を送るのはいいことだと思います。

そもそも大学は今まで学べなかった分野を詳しく学べる場所ですから、大いに学ぶべきだと思います。

もちろん、それぞれいろいろな考え方があるでしょう。その多様な考え方が尊重されるのが大学という場所だと私は考えています。

ですから、是非とも自由に、しかしやる時はやる！の精神で、大学生活を楽しんで下さい。

2016年度 人間生活学科 新入生





限られた時間を大切に

食物栄養学科 3年
F.Rさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。藤女子大学で過ごす新たな学生生活にようやく慣れてきた頃だと思います。私はこの大学で過ごして3年目を迎えますが、一言でいうとあっという間の日々でした。学業においては、専門的な知識を身につけるために「食」に対して幅広い視点から深く勉強してきました。そこで新たな知識を学び、科学的根拠に基づいた理解が出来た時の喜びはとても大きいものです。課題も沢山あるので忙しいですが、その中でも私がこの3年間で大切にしてきたことがあります。それは、忙しいという言葉に負けないということです。

私は、学業を大切にしてきた一方で学生団体やボランティア活動などにも力を入れてきました。具体的には、先進国と開発途上

国における食の不均衡を解消すると同時に、開発途上国の子供たちに寄付金を通じて給食を届けるTFT (Table for Two) 活動や、東日本大震災で被害を受けた東北の生産者と北海道を結び未来を考える活動をしてきました。私はそれらの活動を通して、「食」に関する他分野の方とお話する機会も頂き、「生産者の顔を思い浮かべてその命をいただく喜び」を学びました。

自分の興味がある活動に飛び込み、学業も大切にしながら真剣に取り組むことによって、自分にしか得られないかけがえのない大切なものが見つかります。それは後に大きな自信へと繋がると思います。新入生の皆さんも自分にしか掴めないチャンスを見つけてください。有意義な4年間を過ごせるように応援しています。

2016年度 食物栄養学科 新入生



とりあえず、やってみる。

保育学科 3年
C.Hさん

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは、どのような思いで藤女子大学保育学科を選ばれたのでしょうか。保育者になりたいから、子どもが好きだから、あるいは、本当は他の大学を考えていたという方もいらっしゃるかもしれません。

私は子どもと本が好きで、保育士、幼稚園教諭、司書の資格が取得できるという理由でこの大学を選びました。しかし、はじめから明確に保育者を目指していたわけではありません。入学した当初は、何となく保育を選んだ私が講義や実習についていけるのだろうか？専門分野を学ぶ学科で、途中で嫌になってしまったら？など多くの不安を抱えていました。

そんな私がみなさんにおすすめしたいこ

とは、何事も「とりあえずやってみる」ことです。誰でも、初めてのことは不安になります。内容が難しく、理解に苦しむ講義もあるでしょう。レポートや試験、これから先の実習等で、上手くいかないこともあるでしょう。でもそれで良い、と私は思います。目の前のことに精一杯、真摯に取り組めば、大抵のことは何とかなるものです。周りの人も助けてくれます。そして、いつかきっとその経験が自分の力になると思います。

実習先の保育の現場では、今まで経験してきたことすべてが活かされます。一見保育と何の関係も無いようなことが、思わぬところで力を発揮することもあります。1日1日を大切に、たくさんの経験をして、素敵な学生生活を送ってください。

2016年度 保育学科 新入生



〈大学院〉



新入生の皆さんへ

人間生活学研究科
人間生活学専攻 2年
H.Yさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学院人間生活学研究科2年生を代表して、心よりご入学を歓迎いたします。

私は現在、公立中学校で家庭科教諭として勤務しながら、大学院で学んでいます。大学を卒業後、教師を続ける中でもっと専門的な知識を身につけ、教師として成長したいと考え、大学院進学を決めました。正直、仕事との両立は時間的にも体力的にもきつく感じることもありますが、講義では私が興味を持っていることや必要と感じていることを内容に取り上げてくださるなど先生がたが柔軟な対応をしてくださり、得た知識を日々の授業でダイレクトに生かすことができます。また、年代の違う院生や時には学部生との交流という新たな出会いもあり、

教師としての幅を広げることにつながっていると感じています。

大学院生活をスタートさせる新入生の皆さん、2年間という時間を大切に、見通しをもって毎日を過ごしてください。私は仕事との両立のため、3年間の長期履修を選択し、余裕をもったつもりでしたが、1年目は驚くほどにあっという間に過ぎてしまいました。2年生となった今、必要単位数の取得や修士論文の作成準備などの課題が山積みで、「あとまだ2年ある」ではなく、「もう2年しかない」ことに焦りを感じています。新入生の皆さんは、こうした焦りのないよう、限られた時間の中で計画的に課題や研究に向き合い、充実感と達成感を得られる大学院生活を過ごされることを願っています。ともに頑張りましょう。

2016年度 大学院 新入生



学内ニュース

❖ 新校舎起工式

3月30日(水)北16条キャンパスのクサヴェラ・ホール及び新校舎建設予定地にて上杉昌弘神父様の司式により新校舎の起工式が執り行われ、工事中の安全を祈願しました。

新校舎は、講義室、教員研究室の他、学生用ラウンジ等のコモンスペースを配した9階建約5400平米の建物を計画し、2017年3月に完成予定です。

工事期間中は、学生の皆様をはじめ関係の方々にご不便をおかけしますが、学事及び安全面に最大限配慮して進めて参りますので、よろしく協力くださるようお願いいたします。



❖ 学位記授与式・入学式

2015年度学位記授与式が3月21日(月)本学講堂で執り行われました。

学部生498名(文学部259名、人間生活学部239名)、大学院生6名、合わせて504名の学生が学びを終え巣立っていきました。

式では、各学科の卒業生代表、各専攻の修了生代表へ永田淑子学長より学位記が手渡された後、勝谷太治司教様、木原くみこ同窓会長様よりご祝辞をいただきました。

4月2日(土)には2016年度入学式が講堂で執り行われ、学部・大学院合わせて520名の新入生を迎えました。多数のご家族の方々にご臨席いただき、新入生の入学を祝う華やかな雰囲気の中で式が行われました。

謹んでお悔やみを申し上げます



元藤女子短期大学 家政科 教授
山崎 治子様

平成28年3月24日ご逝去 93歳
藤女子短期大学家政科卒業後、実践女子大学家政学部家政学科卒業。昭和35年藤女子短期大学家政科助手として着任。昭和39年同講師、昭和45年同助教授、昭和53年同教授となり、平成6年3月退職。その後、非常勤講師として1年間勤務。



元事務局長補佐・花川事務局長兼務
小椋 環様

平成28年2月14日ご逝去 87歳
北海学園大学卒業後、昭和27年北海道大学に勤務。その後、旭川工業高等専門学校、北見工業大学、秋田工業高等専門学校、帯広畜産大学、東北大学、旭川医科大学での勤務を経て、平成4年に藤女子大学事務局長補佐として着任。花川事務局長も兼務され、平成12年3月退職。平成17年瑞宝双光章受賞。

《藤のルーツを学ぶ旅》を振り返って

理事長 永田 淑子



藤学園創立90周年記念事業の一つとして、2012年12月から2015年12月まで計6回にわたり、大学・高校3校の教職員と卒業生たちによる《藤のルーツを学ぶ旅》を実施しました。参加総人数は120人ほどです。

《藤のルーツを学ぶ旅》ですので、藤との関わりの中でこの旅のルートを決めました。藤学園は、カトリック教会によって創設された学園です。明治になってキリスト教が解禁され、カトリック教会は多くの宣教師たちを日本に送りました。フランシスコ会の神父たちが札幌に派遣されてきたのが1907年。その中の一人がヴェンセスラウス・キノルド師でした。キノルド師は教育が重要であると考え、学校創設を考えました。ドイツから私たちの修道会「殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会」が、その要請に基づいてシスターを派遣したことは皆様ご存じのとおりです。

藤学園のルーツとして欠かすことができないのは、カトリック教会の総本山であるバチカンとその歴史的背景にあるローマ、フランシスコ会精神のルーツであるアシジ、そして藤学園の母体である修道会のドイツにある本部です。私のアシジやローマやドイツの滞在経験からこの旅行の訪問先を決め、普通の観光旅行では行かないようなところを案内しました。

その結果、何度も海外旅行を経験している方々も多し中、「こういう旅行は初めて」と印象深かったようです。一度だけ、バチカンの聖ペトロ大聖堂の地下に発掘された墓地見学ができました。第二次世界大戦中に発掘、発見された聖ペトロのお墓に案内したかったのです。ペトロのお墓の上に大聖堂があるという1900年間の伝承が、考古学的発掘によって確認されました。聖ペトロのお墓の上に、4世紀のコンスタンティヌス帝による教

会の祭壇がおかれ、その上に16世紀に建てられた現在の大聖堂の主祭壇がおかれています。キリストの一番弟子で紀元1世紀半ばにローマで殉教した聖ペトロ、21世紀の聖ペトロ大聖堂と教皇が一つにつながっています。バチカンの広場で聖ペトロの後継者である教皇を直接に見て、お言葉を聴くことができたのは忘れられません。

聖フランシスコは、12世紀から13世紀にかけてイタリアに生きた聖人で、アシジの中心に裕福な商人の息子として生まれ、騎士になることを夢見る若者でした。しかし、不思議な体験によってキリストに心を奪われ、回心者としてすべてを捨てて全く新しい生活を始めます。丘の中腹の貴族と商人の町アシジを出て、麓のハンセン病患者たちの傍で生活し、彼らのお世話をしました。次第に仲間が増えてきて、「小さき兄弟会」という修道会を教皇に承認していただきます。私たちの旅は彼の精神的源流を辿る旅で、回心後の最初の仲間たちの生活の場であった厳しい清貧の小屋、山の中の深い谷間に面した隠遁所カルチェリなども訪問。フランシスコの心にあつたものを、少しでも感じ取ることを目指しました。アシジの私たちのシスターの家訪問も印象的。

ドイツの本部・ムッターハウス(母修道院)では、家族のように迎えてくださいました。毎朝シスターたちと一緒に参加したミサ、施設訪問、総長やシスターたちとの交わり。特に、年中毎日24時間、二人ずつ交代で祈っている祈りの部屋は印象深く、「藤のルーツはこの祈りにある」と感じた方もおられました。藤学園の母シスター・クサヴェラ・レーメのご実家を訪問できたのも、深い思い出です。

旅で出会った皆様、旅のすべてに感謝——



バチカンでクリスマスのミサ



聖フランシスコのお墓の前で



本部修道院のお墓



シスターのおもてなし

学校法人藤学園 藤女子大学 2015年度 決算諸表

2015年度 資金収支計算書 (単位：千円)

科目	大学 前年度	大学 決算額	法人 決算額
学生生徒等納付金収入	2,126,086	2,071,857	2,832,039
手数料収入	42,756	37,078	50,401
寄付金収入	78,104	11,352	67,782
補助金収入	316,777	785,663	1,617,478
資産売却収入	1,277,000	1,283,940	1,284,290
付随事業・収益事業収入	15,638	12,385	46,613
受取利息・配当金収入	15,391	15,456	26,405
雑収入	52,112	35,435	137,858
借入金等収入	300,000	0	0
前受金収入	745,004	736,662	834,958
その他の収入	867,056	1,611,315	2,300,074
資金収入調整勘定	△ 987,524	△ 1,380,421	△ 1,569,022
前年度繰越支払資金	1,506,208	1,610,490	2,768,419
収入の部 合計	6,354,608	6,831,212	10,397,295
人件費支出	1,492,623	1,461,466	2,916,865
教育研究費支出	405,004	486,051	732,543
管理経費支出	92,182	99,904	176,377
借入金等利息支出	2,468	3,624	3,624
借入金等返済支出	22,210	82,210	82,210
施設関係支出	655,632	582,001	623,572
設備関係支出	149,298	46,024	89,790
資産運用支出	1,873,528	2,751,964	3,376,940
その他の支出	81,846	66,555	179,385
資金支出調整勘定	△ 30,673	△ 19,289	△ 125,147
翌年度繰越支払資金	1,610,490	1,270,702	2,341,136
支出の部 合計	6,354,608	6,831,212	10,397,295

2015年度末 貸借対照表 (単位：千円)

科目	法人 前年度	法人 決算額
固定資産	18,973,673	19,173,046
有形固定資産	12,068,652	12,203,157
特定資産	6,795,298	6,875,870
その他の固定資産	109,723	94,019
流動資産	3,090,774	3,140,611
資産の部 合計	22,064,447	22,313,657
固定負債	1,170,782	1,090,506
流動負債	1,149,397	1,120,666
負債の部 合計	2,320,179	2,211,172
基本金	21,704,609	22,406,659
繰越収支差額	△ 1,960,341	△ 2,304,174
純資産の部合計	19,744,268	20,102,485
負債及び純資産の部 合計	22,064,447	22,313,657

藤女子大学 2015年度決算の概要

学校法人会計基準が改正され、2015年度から新基準に基づいて計算書類を作成しています。従来の消費収支計算書に代わり、事業活動収支計算書を作成することとなりました。これは事業活動ごとの収入および支出の内容を明らかにすることを目的としています。

事業活動収支計算書の概要として、教育活動収支では学生納付金や寄付金等の収入合計が前年度比74百万円減少した一方で、北16条校舎改築にかかる解体費用等により支出合計が80百万円増加しました。財務活動等にかかる教育活動外収支は前年度並みに推移しており、教育活動収支と教育活動外収支を合わせた経常収支差額は36百万円となり、前年度比1億55百万円減少しました。

特殊な要因によって発生した臨時的収支を表す特別収支においては、耐震改築工事のための施設整備費補助金6億4千万円を受け入れたことにより、前年度比3億30百万円増の5億22百万円となりました。これらにより、基本金組入前当年度収支差額は5億59百万円の収入超過となりました。

基本金組入額は改築工事費のほか図書資産の増加分を合わせて6億70百万円となり、それを差し引くと当年度収支は1億10百万円の支出超過になります。前年度の講堂棟の耐震改修に引き続き、2017年3月新校舎竣工を目指し、さらなる教育環境の整備に向けて歩みを進めました。

2015年度 事業活動収支計算書 (単位：千円)

区分	科目	大学 前年度	大学 決算額	法人 決算額		
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	2,126,086	2,071,857	2,832,039		
	手数料	42,756	37,078	50,401		
	寄付金	8,104	11,352	45,681		
	経常費等補助金	178,370	180,915	997,093		
	付随事業収入	15,638	12,386	46,541		
	雑収入	52,111	35,435	137,792		
	教育活動収入計	2,423,065	2,349,023	4,109,547		
	人件費	1,476,485	1,457,686	2,927,177		
	教育研究経費	648,513	742,631	1,190,022		
	管理経費	116,232	123,431	223,672		
教育活動支出の部	徴収不能額等	2,180	428	429		
	教育活動支出計	2,243,410	2,324,176	4,341,300		
	教育活動収支差額	179,655	24,847	△ 231,753		
	教育活動外収入の部	受取利息・配当金	15,390	15,456	26,405	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	15,390	15,456	26,405	
		教育活動外支出の部	借入金等利息	2,468	3,624	3,624
			その他の教育活動外支出	0	0	0
			教育活動外支出計	2,468	3,624	3,624
			教育活動外収支差額	12,922	11,832	22,781
経常収支差額			192,577	36,679	△ 208,972	
特別収支			資産売却差額	0	1,940	1,940
			その他の特別収入	212,306	607,071	653,965
	特別収入計		212,306	609,011	655,905	
	特別支出の部		資産処分差額	20,445	86,242	88,652
			その他の特別支出	0	0	64
		特別支出計	20,445	86,242	88,716	
		特別収支差額	191,861	522,769	567,189	
		基本金組入前当年度収支差額	384,438	559,448	358,217	
		基本金組入額	△ 448,240	△ 670,370	△ 709,478	
		当年度収支差額	△ 63,802	△ 110,922	△ 351,261	
事業活動収入計		2,650,761	2,973,490	4,791,857		
事業活動支出計		2,266,323	2,414,042	4,433,640		

2016年度(平成28年度)入試報告

■藤女子大学総計

学部	学科	募集	出願	受験	合格	入学
文学部	英語文化学科	80	337	334	216	87
	日本語・日本文学科	80	330	328	268	102
	文化総合学科	80	303	301	208	94
	計	240	970	963	692	283
人間生活学部	人間生活学科	80	251	246	233	63
	食物栄養学科	80	340	309	215	84
	保育学科	80	222	216	173	87
	計	240	813	771	621	234
合計		480	1783	1734	1313	517

□一般入学試験 (A日程) ※試験1日目・2日目合計

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	44	222	219	134
	日本語・日本文学科	36	114	113	85
	文化総合学科	36	192	190	127
	計	116	528	522	346
人間生活学部	人間生活学科	30	92	87	80
	食物栄養学科	32	193	162	120
	保育学科	38	132	126	99
	計	100	417	375	299
合計		216	945	897	645

□一般入学試験 (B日程)

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	日本語・日本文学科	10	22	22	16

□大学入試センター試験利用入学試験 (A日程)

学部	学科	募集	出願	合格
文学部	英語文化学科	5	67	48
	日本語・日本文学科	8	142	126
	文化総合学科	4	56	35
	計	17	265	209
人間生活学部	人間生活学科	12	130	126
	食物栄養学科	14	127	76
	保育学科	3	49	35
	計	29	306	237
合計		46	571	446

□大学入試センター試験利用入学試験 (B日程)

学部	学科	募集	出願	合格
文学部	英語文化学科	3	8	7
	日本語・日本文学科	3	18	14
	文化総合学科	4	15	10
	計	10	41	31
人間生活学部	人間生活学科	6	5	5
	食物栄養学科	2	1	0
	保育学科	2	4	2
	計	10	10	7
合計		20	51	38

□公募推薦入学試験

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	15	35	35	22
	日本語・日本文学科	15	24	23	17
	文化総合学科	20	25	25	21
	計	50	84	83	60
人間生活学部	人間生活学科	22	18	18	16
	食物栄養学科	16	15	15	15
	保育学科	25	31	31	31
	計	63	64	64	62
合計		113	148	147	122

□その他、藤学園系列高等学校との間に姉妹校推薦入学試験、カトリック協定高等学校との間にカトリック校推薦入学試験があります。

□社会人入学試験

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	若干名	0	0	0
	日本語・日本文学科	若干名	0	0	0
	文化総合学科	若干名	0	0	0
	計		0	0	0
人間生活学部	人間生活学科	若干名	0	0	0
	食物栄養学科	若干名	0	0	0
	保育学科	若干名	0	0	0
	計		0	0	0
合計			0	0	0

□藤女子大学大学院

研究科	専攻	募集	出願	受験	合格
人間生活学	人間生活学専攻	8	2	2	2
	食物栄養学専攻	8	2	2	2
合計		16	4	4	4

2015年度 藤女子大学・大学院 進路就職状況

最新情報は本学HPに掲載いたします。【就職状況】 <http://www.fujijoshi.ac.jp/career/affair/> 【就職先一覧】 <http://www.fujijoshi.ac.jp/career/list/>

〈大学〉

2016年5月1日現在

	卒業 者数 ※1	卒業後の進路						その他 ※2
		進学		就職				
		希望数	決定数	希望数	決定数	就職率		
文 英語文化学科	102	7	5	90	87	96.7%	5	
日 日本語・日本文学科	73	0	0	68	62	91.2%	5	
文 文化総合学科	84	3	2	80	78	97.5%	1	
学 学部計	259	10	7	238	227	95.4%	11	
人 人間生活学科	74	1	0	71	71	100.0%	2	
食 食物栄養学科	86	3	3	82	77	93.9%	1	
保 保育学科	82	3	2	77	76	98.7%	2	
学 学部計	242	7	5	230	224	97.4%	5	
合 計	501	17	12	468	451	96.4%	16	

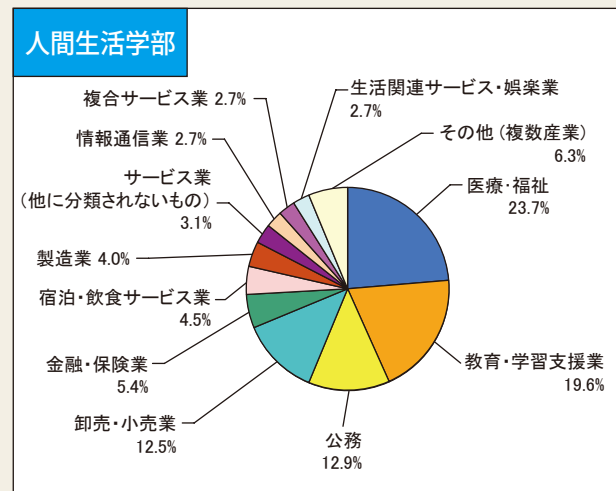
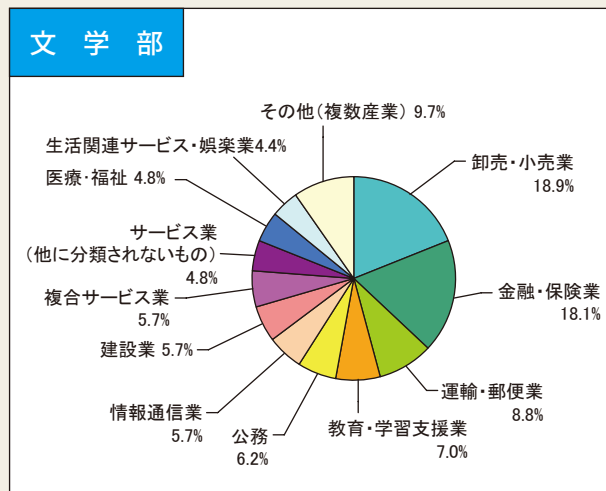
		就職先内訳							
		企業等		専門職(福祉・栄養・保育)		教員		公務員	
		希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
文 英語文化学科	85	83	—	—	1	1	4	3	
日 日本語・日本文学科	57	52	—	—	3	3	8	7	
文 文化総合学科	75	73	—	—	0	0	5	5	
学 学部計	217	208	—	—	4	4	17	15	
人 人間生活学科	50	50	9	9	9	9	3	3	
食 食物栄養学科	38	38	36	31	0	0	8	8	
保 保育学科	17	16	22	22	20	20	18	18	
学 学部計	105	104	67	62	29	29	29	29	
合 計	322	312	67	62	33	33	46	44	

※1：年度途中の卒業者を含む。※2：主婦・社会人入学者を含む。



食物栄養学科のデータは途中経過報告としてご覧ください。5月上旬の管理栄養士国家試験合格発表後に専門職として就職する者もあり、今後も就職決定数が増えます。最終的な進路決定状況は、本学HPに掲載する2016年10月末現在のデータをご覧ください。

〈就職先産業別比率〉



〈大学院〉

人間生活学研究科	修了 者数	修了後の進路				その他
		進学		就職※		
		希望数	決定数	希望数	決定数	
人間生活学専攻	2	0	0	2	2	0
食物栄養学専攻	4	0	0	4	4	0
合 計	6	0	0	6	6	0

人間生活学研究科	就職先内訳							
	企業等		専門職(福祉・栄養)		教員		公務員	
	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
人間生活学専攻	2	2	0	0	0	0	0	0
食物栄養学専攻	0	0	0	0	2	2	2	2
合 計	2	2	0	0	2	2	2	2

※社会人(職場復帰)を含む。

2015年度卒業生の就職状況は、就職希望者に占める就職者の割合が、人間生活学科で100%となったことをはじめ、全学科で90%を越える大変嬉しい結果となりました。経団連加盟の大手企業の選考解禁日が4ヶ月繰り下げられ、大学4年生の8月からとなる大きな変更があった年で、例年以上に就職活動が長期化しました。学業との両立に苦労しながら活動した学生も多かった中での大健闘と言えます。

続く2016年度の就職活動も既に本格化していますが、企業の採用時期の更なる見直しが行われた結果、採用選考解禁日が2ヶ月早まり、大学4年生の6月からとなりました。採用広報の時間が足りないと考える企業では、大学3年生を対象に行うインターンシップをきっかけに、優秀な学生と接点を持つとする動きも活発になっています。

解禁日が繰り下げられても、優秀な学生を早く確保したい採用側の姿勢に変わりはなく、経団連の縛りを受けず採用活動を行う企業、水面下で動く企業が数多くあるのも事実です。

「早くから将来の進路を考え積極的な準備行動を起こすこと」「多様な経験を通じて社会で求められる基礎力を身につけること」解禁日に関わらず、これらが大切であることに変わりはありません。



藤女子大学の国際交流

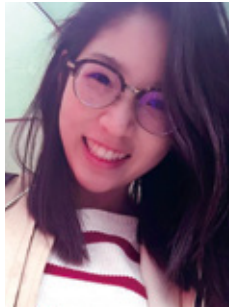
海外協定校からの 留学生紹介

2016年度は、台湾の輔仁大学から1年間の交換留学生4名を受け入れています。留学中は、日本語を学びながら本学学生と一緒に授業を受講したり、学内行事等を通じて交流するほか、部活・サークル活動に参加するなどして楽しく過ごしています。

4月からの北海道での生活について、留学生がこれまでに受けた印象をご紹介します。

Y.Yさん

私たちが北海道に来た日はとても晴れていた日でした。涼しくて、乾燥した空気と広い青空は私にとって北海道への第一印象です。北海道に来て丁度2か月を越えて、天気不安定で、雪の日もあって、最初はびっくりしたけど、それで自分が北海道にいるということを再び感じました。私の行ったところはまだ少ないけど、学校の帰り道の桜とチューリップを見て、北海道の四季の力を感じて、これからの日々にごくワクワクしています。



W.Yさん

台湾人の私にとって、日本は自然と現代の技術が調和する国だと思う。特に北海道はよく私にそのような感じを与える。札幌駅や大通のようなくちも便利で、にぎやかな所もあって、円山公園や小樽や伊達のような静かで、緑が多い所もある。このような雰囲気は実家の町、台湾の高雄を少し思い出させる。しかし、高雄と違うのは、北海道は非常に寒くて、大きいところである。もっと北海道ならではの美しさを見に行きたいから、この1年間、できれば、北海道一周を旅行したいと思う。



C.Sさん

日本に来てから2ヶ月ぐらい、札幌での生活にもうだいたい慣れていて、いろいろな台湾でしたことないことをしました。私と国際交流クラブなどでこの部員と一緒に円山公園にお花見に行きました。あの日は雨が降っていて、桜もまだ全部咲いていないけれども、森の中を歩きながら桜を見たことはやはり台湾では少ないことだと思います。とても綺麗でした。もし、また時間があったら、もう一度北海道のきれいな景色を見に行きたいと思っています。



F.Hさん

藤で留学すること決める前から、ずっと北海道に来たかったです。北海道は思ったとおりブルブルするくらい寒いです。5月にまだ長袖を着ているのは、台湾でいる時に全然想像できませんでした。札幌は静かで、人が少なく、台北と逆です。でもこのようなのんびり生活を今楽しんでます。北海道は大自然がきれいで、食べ物がいしくて、本当にいい所だと思います。



「留学生がカメラに収めた北海道の風景」 撮影：吳 怡仲



留学についてのお問い合わせ 国際交流センター 国際交流室 TEL/FAX ● 011-736-5912(直通) E-mail ● cep@fujijoshi.ac.jp

2015年度表彰式

2015年度の学生部長賞が決定し、4月8日(金)に行われた新歓フェスティバルで学生部長より表彰されました。おめでとうございます。

学生部長賞

◆国際交流クラブ「なでしこ」

新たな試みや企画として研修旅行や創作書道など、留学生との新たな交流活動を成功させたことが評価されました。

◆食で世界とつながるTFT-Fuji

麻生商店街とコラボレーションし商品開発、地域活性につながる活動が評価されました。

学生部長特別奨励賞

◇書道部

天の川展(さわらび会主催)でのパフォーマンスと展覧会での好成績が評価されました。

私のカレッジライフ

藤の学生は、どのような学生生活を過ごしているの？
このコーナーでは、学部ごとに1名ずつ学生の1週間のスケジュールをご紹介します。



文学部
日本語・日本文学科
2年 K.Yさん

将来のビジョン

女性がより息をしやすいよう工夫する人になりたいと思っています。
そのため、日本近現代文学が専攻ですが、ジェンダー論やフェミニズム批評に関連する科目にも意欲的に取り組んでいます。

受講科目について

日本文学演習IF / 今年は谷崎潤一郎作品を1年かけて読み込みます。そのうちマゾヒズムに目覚めてしまったらどうしようかと気がかりな科目です。

日本文学演習IG / 戦後、米単独占領下の文学作品を扱うゼミ。「敗戦」から生まれ検閲を乗り越えた作品を読み考察をします。また、私は当時の日本における女性差別的現象にも目を光らせています。準備に忙しい科目のひとつです。

法学特講C(法女性学) / 法学の観点から女性の生き方を考える講義。「女性」に関わる具体的・現実的な指針や問題点が見えて興味深いです。

放課後(余暇)の過ごし方

日本語・日本文学会学生運営委員という団体に所属しており、週に1度ミーティングがあります。学生間での文学にまつわる勉強会やイベントなどを企画したり、夏の文学研修旅行の計画を練ったりしています。特に昨年から始まったピピリオバトルは私の念願の企画で、メンバーに協力してもらいながら達成できました。人の温かさを痛感する場です。図書館の地下に篋って読書したり課題をしたりするのが好きです。冷暖房が程好いですし、本のいい匂いもしますし、スマホの電波が届かないため集中できるので。

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
I 講時 9:00 10:30			女性論			
II 講時 10:40 12:10	中級ドイツ語A	法学特講C(法女性学)		日本文学演習IG	中級ドイツ語B	
昼休み			ミーティング			
III 講時 13:00 14:30	異文化コミュニケーション論	日本文学演習IF	日本文学講義IH	日本思想史		
IV 講時 14:40 16:10	日本文化論A		映像表現論	心理学特講A	日本文学概論	
V 講時 16:20 17:50						

※時間割 □ 必修 □ 選択



人間生活学部
食物栄養学科
2年 Y.Hさん

将来のビジョン

将来は行政の管理栄養士として働けたらと考えていますが、管理栄養士といっても働く環境はさまざまなので、これからの講義や3年次の臨地実習を参考にして、自分に合っている分野・興味がある分野を明確にしていきたいです。今は国家試験合格が大きな目標ではありますが、この大学の4年間で外国語も身に付けたいと考えています。言葉が通じなくてコミュニケーションがとれず悔しい思いをしたことが何度もあり、その気持ちが原動力となっています。

受講科目について

栄養管理実習 / 食材をパッと見ただけで何グラムあるのかわかるようにしたり、自分で立てた献立を実際につくったりします。しかしただ作って食べるのではなく、出来上がったものを評価してそこからさらに修正していくので、管理栄養士として欠かせない献立作成の基礎が身に付きます。

食品成分分析実験 / マーブルチョコの色素で毛糸を染めたり、ある1つの食品の一般成分について何回もの実験を行って調べていきます。化学の知識が求められたり、毎回レポートの提出がありますが、自分たちで実験することで食品の知識が深まっていくことを実感します。

中国語演習I / 唯一の選択科目です。観光客が増えているので、話せるようになりたい! というだけで1年の時から始めましたが、簡単な会話が出来るようになり、実際に役立つ場面が多くありました。頻繁に小テストがありますが、ネイティブに通じたことが自信につながり、中国語を選択して本当に良かったと思っています。

放課後(余暇)の過ごし方

料理があまり得意ではないので時間があるときは意識してお弁当を作るようにしています。時間割はほぼ必修科目で埋まっていますが、講義が早く終わった日は買い物をしたり友達とご飯を食べに行ったりします。時間がかかる宿題も多く決して楽とは言えない学科ですが、同じ目標に向かって頑張る仲間がいるのはとても心強いです。最近では時間を見つけてボランティアをしようという話もしています。

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
I 講時 9:00 10:30						
II 講時 10:40 12:10	臨床栄養学C	栄養管理論	中国語演習I	食と安全論A		
昼休み	お弁当	お弁当	お弁当	お弁当		
III 講時 13:00 14:30	食品成分分析実験	栄養管理実習	公衆衛生学B	生化学B	応用栄養学B	
IV 講時 14:40 16:10			栄養教育論II		給食経営管理論I	
V 講時 16:20 17:50	(レポート)	基礎栄養学B			疫病学医療学A	

※時間割 □ 必修 □ 選択



素顔の先生 第4回

人間生活学部 人間生活学科 講師

長尾 順子 先生



「素顔の先生」第4回目は、人間生活学部・人間生活学科で生活科学のなかの被服分野を担当なさっている長尾順子先生にインタビューしました。長尾先生が現在のご専門を志すきっかけやプライベートタイムについて、貴重なお話を伺いました。

Q1. 何故被服の道へ進もうと思ったのですか？

幼い頃から漫画を読んだり描いたりすることが好きで、その中でも歴史系の漫画にみる時代衣装に興味をもちました。人生で最初に読んだ漫画は小学1年生の時、古代エジプトを舞台とした少女漫画の『王家の紋章』です。他にはギリシャ神話をモチーフにしたもの、アラビアンナイトをとりあげたものなど、異国の雰囲気や漫画の衣装表現を通して知っていくのが楽しかったです。小学5年生の時には平安時代を舞台にした『なんて素敵にジャパネスク』を読み、日本にも服飾文化があることを認識しました。実はこの漫画の原作者は、藤女子大学の文学部出身者の氷室冴子さんなんです。『なんジャパ』をきっかけに私は日本服飾史を専攻しましたので、非常に運命を感じます。その後は漫画だけではなく宝塚やオペラの衣装表現にも興味を持つようになりました。

Q2. 学生時代にしておいたほうがいいことは？

旅に出ることをおすすめします。今簡単に行けるところでも10年後20年後にその場所に行くことができるかはわかりません。私も今、トルコやギリシャ、エジプトなど行きたいところがたくさんありますが中々行くことができません。だから時間や気持ちがあるときに旅に出てみてください。ちなみに国内であれば奈良がおすすめです。独特な雰囲気があり学生時代によく行きました。

Q3. 先生の夢はなんですか？

小さな夢としては5月に行ってきた羊の毛刈り体験でもらった羊毛を染めたり、糸にしてみたいということでしょうか。大きな夢で言うと学生時代にしておいたほうがいいことでも言いましたが旅に出ることです。世界中を一人で旅していろいろな衣装に出会うことが私の夢です。

Q4. どのようなキャンパスライフを送っていましたか？

本当に、自由！フリーダム！という感じで好きなことばかりしていました。サークルに入ったり、休みの日になると近くを歩いて散策したり、旅に出てみたりもしました。旅の一番の思い出は、大学院の時にドイツのパイロイト音楽祭に行けたことです。その時の演目は「ニュルンベルクのマイスタージンガー」というオペラ作品でした。このオペラの主人公であるハンス・ザックスの軌跡を追って音楽祭前にニュルンベルクへ立ち寄り、楽器のマイスターと写真を撮ったのもいい記念です。また、読書もたくさんしました。大学の図書館には高校にはなかった本がたくさんあったため、ひたすら図書館に引きこもっていました。東洋文庫の『アラビアンナイト』やその他ミステリー小説がおもしろかったです。

Q5. 休みの日は何をしていますか？

休みの日は家にいることが多いです(笑)。小説や漫画を読んだりゲームをして過ごしています。外に出るときはもっぱらウインドウショッピングで服や雑貨を見ます。ときには芸術の森へ出かけて、染物体験やフェルト作りをします。



人間生活学科
3年
T.Y.さん

この度は、先生の新しい一面を見ることができ、とても楽しい時間を過ごしました。旅に出で欲しいということを強くおっしゃっていたので、私も残りの2年間でどこか旅行に行き見聞を広めたいなと感じました。



人間生活学科
2年
K.T.さん

今回のインタビューで、長尾先生との距離がぐっと縮まったような気がします。学生時代のお話を聞いて、私も今のうちに色々なことに挑戦してみようと思いました。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

前は、聖フランシスコの精神をご紹介しました。「行って、私の家を建て直しなさい」というキリストの呼びかけを聴いて、幾つもの壊れかけた教会を修復し、すべてを捨てて貧しくなり、謙遜に愛深くハンセン病患者たちのお世話をしたりしているうちに、仲間たちが加わってきたのでした。

今回は、その増えてきた仲間たちとの新しい生活を、教会から正式に認めていただくことを求めて、フランシスコは簡単な規則を作って教皇イノセント3世のもとに承認を願い出たことです。その原始会則と呼ばれるものは、イエスの命じることをそのまま実行し、イエスの生活を完全に模倣しようというフランシスコの精神が書かれた非常に簡単なものです。フランシスコは、自分たちの新しい生活を教皇の承認のもとに行いたいと考えました。

当時、一切を所有せず全く清貧に生き、托鉢や宣教活動を行っている団体がいくつも現れていました。ワルド派が有名ですが、教会からは異端とされていました。彼らは教会の許可なしに、信徒が勝手に説教活動をしていました。フランシスコは教会の権威を尊重し、その最高権威者である教皇からの承認を求めようと思いました。彼は、一部の高位聖職者たちの堕落を糾弾することもせず、ただ、貧しく謙遜で平和を愛する生き方をする道を歩みました。

1209年、フランシスコとその仲間たちは、アシジからローマへ歩いて出かけ、アシジのガイド司教に伴われてラテラン教会に教皇イノセント3世を訪れます。教皇は、目の前に現れたぼろをまとった貧相な若者たちを見て、拒否しそうになりますが、彼は一人の男が倒れかかったラテラン教会の柱を支えている夢を見ます。その男がフランシスコであるとわかり、彼は1210年にフランシスコの新しいグループを「小さき兄弟会」として承認します。

フランシスコたちは、ローマに滞在している間に剃髪を受け、教会から聖職者として認められたことになり、それ以後、正式に説教活動を行うことができました。



ラテラン教会に到着した
フランシスコと仲間たち



教皇イノセント3世の夢 (ジョット画)
アシジ・聖フランシスコ教会

北16条キャンパスに
9階建新校舎を
建築中です

